



# シルバーだより

No. 353  
令和2年3月1日  
荒川シルバー大学  
荒川区荒川3-49-1  
理事長 岡田芳子  
TEL 3801-5740  
FAX 3801-5691

## — 誰かのために —

頭の体操教室講師・広報部長 水越 絹代

ある所におばあさんがいました。おばあさんは病気で余命三か月と診断されました。先はもう長くないことを察した彼女は、次第に自己中心的な態度をとり始めました。見舞いに来てくれた家族や看護師に横暴な態度をふるい始めたのです。自分は今すぐ死ぬのだから、まわりの人は自分に尽くしてくれて当然、といわんばかり。容姿も気にならなくなって、なりふり構わず、お化粧品も一切なくなっていました。

そのおばあさんがある朝、ふと窓の外を見やった時のことです。彼女の目に映ったのは、疲れ切ったサラリーマン達の姿。おばあさんはそこで、「人生に絶望しているのは、自分だけではないんだ」ということに気づいたのです。

元来、陽気で活発な性格の彼女は、その翌日、看護師に頼みました。化粧を整え、車椅子を外に出し、押しってもらうことを。会社へと急ぐサラリーマンの一人一人に「行ってらっしゃい」とほほえみかけていったのです。

最初は、何のことも戸惑っていたサラリーマン達も、次第にニッコリと笑顔を返してくれるようになりました。彼女にも、疲れ切って曇った顔だったサラリーマン達の顔にほほえみと元気が戻ってくるのが、手に取るようにわかりました。

これが嬉しくて、サラリーマンへの朝の挨拶はこのおばあさんの日課となりました。そしてそれが生き甲斐となつてか、おばあさんは医師の予測より倍以上も生きたといいます。(諸富祥彦著「生きていくことの意味」より引用)

人間は、人とのつながりなくして“生きている喜び”を感じることはできません。自分のことを必要としてくれる誰かがいる。そして、その誰かのために、自分にもできることがある。このことほど、私達の生きる意欲を喚起してくれるものはありません。

3月18日(水)は、荒川シルバー大学の今年度を締めくくる大事な行事であり令和初となる『閉講・卒業式』です。5年の卒業証書、10年の奨励賞、20年の学長賞、30年の理事長賞(今年度は該当者なし)、更に今年は、100歳を迎えた学生への長寿賞の授与式があります。一年間勉強を共にしてきた仲間たちに、「おめでとう」の一言を伝えるため、一人一人が会場に足を運び祝福してあげましょう。

それがまた、お互いにとって次の一年を続けていける励みになることでしょう。



## 《《 福島復興支援ツアーに参加して 》》

令和元年11月20日朝7時30分、荒川を出発して東北道を走ること約5時間。あの日から8年経った「福島」に到着しました。日本は美しい国です。そして、私達にとって大切な福島なのです。テレビ、新聞その他各方面からの報道によって、それなりに分かっていたつもりの方々の福島の実情、しかし、来てよかった福島でした。

未だ続く東京電力福島第一原発の震災事故による放射性物質の空中飛散、その風評被害。このことはご当地の皆様にとって大きな問題として、今も尚苦しんでいることを改めて知らされました。今回、福島市の取り組みに関心を持つ機会に恵まれ、「その行政」は、人体への影響に勿論力を注いでいました。その一つ『JA ふくしま未来』では、ご



当地すべての農作物の厳しい放射性物質のモニタリング検査が行われ、その結果が行政、生産者、地域の人達に日々公表され、福島産の食の安心安全を発信。このことは、当然生産者の「やる気」へと繋がります。その安心安全をアピールする為に、ご当地リンゴのピューレづくりを体験させていただき、美味しさにおみやげ決定。又、『福島観光物産館』では、「福島産の産物でつくりました」と、安心安全を商品にこめて陳列し、販売されていました。

「頑張っている福島」「負けない福島」、皆さんの力が結集した8年に触れることができました。何より福島のことを身近な問題として考える機会に恵まれました。

これからは、子供達や地域の人に、福島産の食の安心安全を伝承していきます。そして、福島のご発展を祈念申し上げます。

福島市の皆様、荒川区文化交流課の皆様、この度のツアーでお世話になった皆様、ありがとうございました。

( 東京近郊ミニ散歩教室 草野・小泉 )

---

### 寄付金のご報告

学生・講師の皆様にご協力頂きました『令和元年度の学園祭』における陶芸チャリティーの収益金より30,000円と、フラットフラットでの別途売上金11,090円を、令和2年1月14日に荒川区を通じて「日本赤十字社」へ寄付致しましたことをご報告致します。

( 理事長 岡田 芳子 )



ご協力ありがとうございました



《《 俳句教室 「秋の吟行会」 》》

俳句教室「秋の吟行会」は11月28日に行われました。当日は雨でしたが「あいにく」の雨という言い回しは俳句ではしません。「おりから」の雨といって雨さえ良い句材にしてしまいます。

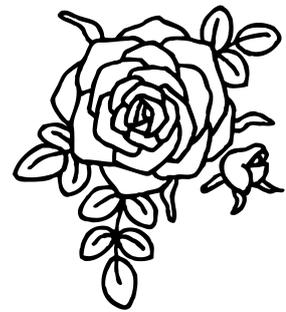
場所は「日比谷公園」と「帝国ホテル」。日比谷公園については説明するまでもありませんが、まさに日本の政治、経済、文化の中枢にある「大都会のオアシス」。丁度大嘗宮の一般公開期間とあって皇居の方から入場者へのアナウンスが風に乗って届きます。公園内では花壇、噴水、多くの記念碑、江戸城の史蹟、そしてそれらを彩る紅葉の素晴らしさに心を奪われました。イチョウの巨木やモミジ等々、黄、赤、緑の葉が池の水面に映り二倍の美しさです。



そして次のお楽しみは帝国ホテルのランチバイキング。日本のバイキング発祥の店とあって気合いが入っています。家庭ではちょっとお目にかかれないような食材や手の込んだ料理、豊富なデザートに舌鼓を打ち、何回もカウンターと座席を往復し堪能しました。17階の窓下に初冬の大都会の景色が広がっているのを鑑賞したのは、とりあえずお腹が満足してからでした。各自この日の感想を次のように詠みました。

気高さやメトロポリスの冬薔薇  
ちんまりと菰巻のある心字池  
鷺一羽凍雨にけぶる心字池  
啄める鳩の背を打ち銀杏散る  
朱に燃えて水面を染める冬紅葉  
シャンソンの流れるテラス木の葉降る  
時どきはひとりがよろし石菫の花  
木漏れ日に透けて燃えたる冬紅葉  
ちらほらとやさし小枝に冬桜  
鶴噴水囲む紅葉の雨に濡れ  
移ろひゆく紅葉の色や水鏡  
大都会冴ゆワイングラスの紅も冴ゆ  
はらはらと葉の舞ひ落つる冬の朝  
木の葉髪水に映りて心字池  
冬紅葉池噴水を引き立たせ  
冬の雨心穏やか心字池  
今を咲く勇氣十月さくらかな

智  
とうこ  
恭子  
悦  
文  
かづ  
謡  
藤子  
朋子  
笙  
洋子  
恒  
みつえ  
麗子  
信  
知恵子  
京



( 俳句教室代表 横須賀 とも子 )

## 三月の行事

### 平成31年度 閉講・卒業式

日時： 令和2年3月18日（水） 午前10時～  
会場： サンパール荒川 3階 小ホール

#### 一部

1	開式の言葉	7	学長賞授与
2	敬礼		受賞者謝辞
3	理事長挨拶	8	長寿賞授与
4	卒業証書授与 答辞		受賞者謝辞
5	学長式辞	9	感謝状授与
6	奨励賞授与 受賞者謝辞	10	校歌斉唱
		11	閉式の言葉
		12	敬礼

#### 二部

- 1 記念撮影

※今年度限り、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるため、出席者は各受賞者・常任理事・講師とさせていただきます。

### ★学芸会・交歓会中止のお知らせ★

2月28日に予定されていた「学芸会」及び、3月18日に予定されていた「交歓会」は、新型コロナウイルスの流行が懸念される時期であり中止となりました。

### ◆◆◆◆ 2月の学園日誌 ◆◆◆◆

1日	令和3年度学芸会会場申請(施設部)	21日	臨時講師会(学芸会中止決定)
1日	閉講・卒業式受賞者名簿作成 閉講・卒業式出席案内カード作成	22日	交歓会実行委員会 (交歓会中止決定)
5日	常任理事会・役員会	25日	臨時常任理事会
7日	～20日 令和2年度募集受付	27日	シルバーだより353号作成
18日	福利厚生委員会・広報委員会	27日	企画部打合せ

### ※事務局だより※

#### 1. 令和2年度の募集申込み受付について

2年度の募集受付が無事終了致しました。区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、施設管理課、生涯学習センター他、皆様より多大なるご協力をいただき心より感謝申し上げます。また役員の方々には、お手伝い頂きありがとうございました。

#### 2. 受講生二次募集について 各教室の若干名の追加募集を致します。

期日：3月5日（木）～6日（金） 時間：午後1時～3時 会場：シルバー大学事務所

#### 3. 講師会について 日時：3月30日（月）午後1時より 会場：大会議室

#### 4. 写真教室展示会のお知らせ

期日：3月17日（火）～22日（日） 時間：9時～20時

会場：サンパール荒川 2F（初日は12時より最終日は15時まで）

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

室長 田原